



【世界の今を知る】

## 顧みられない熱帯病（NTDs）と NTDs Youthの会の活動について



▲NTDs Youthの会の活動の様子

### ▼ 目次【VOL.151】

- 2-3 【世界の今を知る】顧みられない熱帯病（NTDs）とNTDs youthの会の活動について
- 4-5 FUNN加盟団体活動レポート
- 6 FUNN活動レポート
- 7 NGO相談員報告・イベント情報

皆さんは顧みられない熱帯病（NTDs）をご存知でしょうか？NTDsとは、WHOが「人類が制圧しなければならない熱帯病」として指定している21の疾患群を指します。このNTDsの制圧を目的として、アドボカシーを中心とした活動に取り組む一般社団法人NTDs Youthの会の轟木亮太さんにNTDsについてと団体の活動についてご執筆いただきました。

轟木さんの記事は次のページから **➡➡**

## NTDs Youthの会について

私たちNTDs Youthの会は、若手医師、医学生、獣医学生が中心となり、顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases, 以下NTDs）に取り組むユース団体です。私たちはグローバルヘルス分野のアドボカシーリーダーを育成するReach Out Project (<https://reach-out.site/>)に支援を受けて2023年4月に発足し、同年10月に一般社団法人として設立されました。私たちのミッションとして、「NTDsの認知度向上」、「国内外の協力関係の推進」、「疾病負荷の軽減貢献の加速」を掲げています。

私たちの取り組みは主に以下の3つの柱で構成されています。

①**アドボカシー事業部**：国内では厚生労働省などの関係省庁、NTDs議連を中心とした国会議員、国外では世界保健機関(WHO)やビル&メリンダ・ゲイツ財団など国内外問わず様々な組織と積極的に連携しています。NTDsに対する社会の関心を高め、対策の推進を働きかけるため活動しています。

②**コンテスト事業部**：世界NTDの日（毎年1月30日）に合わせて、中学生から大学院生を対象に国内のパートナーと連携してコンテストを開催しています。生徒・学生が主体的にNTDsについて学ぶ機会を創出することで、「自分事」として考える動機づけとなることを目指しています。

③**スタディーツアー事業部**：NTDsの研究者と連携して、実際に現場を見る機会を創出するスタディーツアーを計画しています。実際にNTDsの流行する地域へ渡航し、早期の体験（early exposure）を経験することによって、強い動機を持ってNTDsへ取り組む人材の育成を目指しています。

## 顧みられない熱帯病（NTDs）について

「顧みられない熱帯病（NTDs）」とは、WHOが「**人類が制圧しなければならない熱帯病**」として指定している21の疾患群を指します。これらの疾患は主に熱帯や亜熱帯の貧困地域で蔓延しており、WHOによると世界で10億人を超える人々が影響を受け、約16億人が予防と治療の介入を必要としていると推定されています。

NTDsは貧困に起因する劣悪な衛生環境などで広がり、感染した人々の労働力や生産性を低下させ、**貧困の連鎖を引き起こす要因**となっています。NTDsは重篤な身体障害をもたらすことがあり、経済活動や社会生活に大きな支障をきたし、場合によっては死に至ることもあります。これらの疾患は開発途上国や新興国の経済成長を妨げる重大な課題の一つとされています。

### 顧みられない熱帯病（NTDs）とは

〈WHOによる基準〉

- 貧困層に影響し、重い障害や死亡、差別を引き起こす
- 主に熱帯・亜熱帯地域に住む人々に影響
- 診断と治療において研究が不十分
- 疾患の制圧が迅速に可能
- 21疾患がNTDsとして定義



**予防はできるが、治療法がない場合も多い**

## 具体的な疾患と2030年までの対策目標について

NTDsの制圧は持続可能な開発目標（SDGs）の目標3（ターゲット3.3）に定められています。また、WHOは2030年に向けたロードマップを策定し、以下の包括的な世界目標を掲げています。

- NTDsに対する介入を必要とする人口を90%減少させる / ● NTDsに関連する障害調整生命年（DALYs）を75%削減する。 / ● 100カ国で少なくとも1つのNTDの制圧を達成する。 / ● メジナ虫症

（ギニア虫症）、フランベジア（イチゴ腫）を根絶する。

〈2030年までの対策目標〉

WHOは4つの段階に分けて、対策の目標を設定しています。また、以下の20疾患に加えて2023年12月に Noma（壊死性潰瘍性口内炎）が加わりました。

### 1.根絶（Eradication）

メジナ虫症（ギニア虫症）、フランベジア（イチゴ腫）

### 2.制圧：感染の中断（Elimination: Interruption of Transmission）

アフリカ睡眠病（gambiense）、ハンセン病、河川盲目症

### 3.公衆衛生上の問題としての制圧（Elimination as a Public Health Problem）

アフリカ睡眠病（rhodesiense）、狂犬病、住血吸虫症、シャーガス病、トラコーマ、土壌伝播蠕虫感染症、内臓リーシュマニア症、リンパ系フィラリア症

### 4.制御（Control）

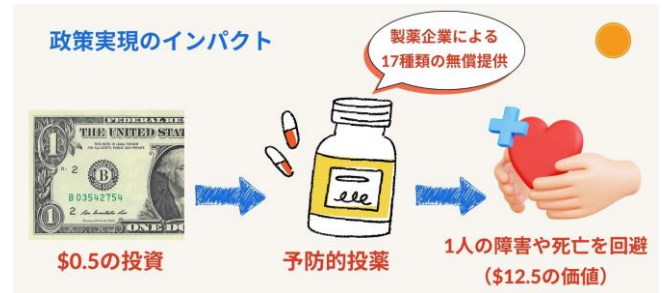
エキノコックス症、疥癬とその他の外部寄生虫症、食品由来の吸虫症、条虫症・囊虫症、デング熱・チクングニア熱、毒蛇咬傷、皮膚リーシュマニア症、マイセトーマ、ブルーリ潰瘍

## 社会的インパクトの大きさ

NTDsは少ない投資で障害や死亡を回避でき、大きな利益（不要になった治療費や労働可能になることで得られる収入）が得られます。具体的な例として、私たちはWHOのアフリカ地域事務局の顧みられない熱帯病の制圧のための拡大特別プロジェクト（ESPEN）に注目しています。ESPENはアフリカ地域にて特にPC-NTD（予防的な投薬で防げるNTD）の制圧を目指しています。

ESPENの活動は低コストで高い効果を上げることが可能で、例えば、\$0.50の投資で一人の住民へ薬を届け、障害や死亡を回避することで\$12.50相当の価値を生み出すことができると言われています。ただし、これを支える製薬企業による薬剤の無償提供があることも忘れてはいけません。日本からはエーザイがリン

パ系フィラリア症であるDEC錠の無償提供を2013年から行っており、29カ国に20.5億錠（2022年5月現在）を提供しています。



## NTDs対策の進展

WHOが掲げるロードマップの達成へ向けて多くの課題はありますが、NTDs対策は過去10年間で多くの進展が見られました。NTDsの介入を必要とする人口は2010年から2022年の間に26%減少し、21.9億人から16.2億人になりました。2023年末時点で、50か国が少なくとも1つのNTDを排除し、2030年までに100か国でのNTD排除目標に向けて半分の道のりを進んでいます。顧みられない熱帯病（NTDs）は世界人口の5人に1人に影響を与えているものの、重要な課題として認識はまだ不十分です。NTDsは予防可能であり、この課題が解決されないことは世界の不平等を象徴しています。

NTDsは貧困や差別、衛生環境の悪さなど複合的な課題があり、単なる医療面の課題ではなく、分野横断的な協力が不可欠です。そのため、コミュニティレベルから政策決定者まで幅広い層が強く連携し歩みを進める必要があります。

私たちNTDs Youthの会は、WHOが掲げるロードマップの達成に向け、認知度拡大活動、アドボカシー活動を国内外のパートナーと強く連携し推進します。私たちの活動に興味を持った方はぜひ一緒に活動しましょう。ご連絡をお待ちしています。（執筆：代表理事 轟木亮太）



**新** 加盟団体  
紹介

## 一般社団法人NTDs Youthの会



今年度よりNTDs Youthの会が新たにFUNNの正会員団体として加盟いたしました！

NTDs Youthの会は、日本熱帯医学会学生部会の学生が中心となって結成され2023年4月に発足した団体です。顧みられない熱帯病（NTDs）の制圧を目的として活動を行い、その目的を達成するために、NTDsの認知度を高め、人々がこの課題を身近なものとして受け止め、共感し、行動することを促進する使命を担っています。具体的な活動や顧みられない熱帯病（NTDs）についてはP2～3の「世界の今を知る」で取り上げておりますので、ぜひご覧ください！

一般社団法人NTDs Youthの会 代表理事：轟木 亮太

 <https://www.ntds-youth-japan.org/>

 [office@ntds-youth-japan.org](mailto:office@ntds-youth-japan.org)



▲代表の轟木亮太さん

### 【開催報告】2023年度九州地域NGO活動助成金報告会

2024年4月26日に福岡市国際会館にて、2023年度九州地域NGO活動助成金報告会を開催しました。当日は2023年度に採択された8つの団体の関係者の方や助成金審査委員の方に集まっていただき、またオンラインから、真如苑社会交流課担当者にもご参加いただきました。

8つの団体全ての方から当助成金を活用した事業報告を資料や写真を投影しながら行っていただき、短い時間ではありましたが、それぞれの報告のあとに質疑応答や感想などのフィードバックが行われ、お互いに活動の振り返りや今後の参考になるような時間となりました。

当助成金を活用したプロジェクトは海外支援国における緊急支援や組織の基盤整備、また文化交流や地域における多文化共生事業等様々な事業で大切にご活用いただき、その報告を直接お話しいただきました。各団体の実施報告の後、当日参加した審査員の方や真如苑担当者の方よりコメントを頂きました。今までは書面という形でしか活動内容を知ることができていみせんでしたが、今回初めて報告会を開催して活動団体さん自身からお話をお伺いすることができ、当助成金がどのように役立てられたかを詳しく知ることができました。



▲助成金報告会の様子

ネパール歯科保健医療協力会  
中村修一さん追悼文

## 中村修一先生を偲んで



2022年10月3日にネパール歯科保健医療協力会前理事長、中村修一先生がご逝去されました。中村修一先生は1989年から始まったネパールにおける国際協力活動では、常に先頭に立ち、旗を立て、牽引して来られました。ネパール歯科保健医療協力会は35年にわたり活動を継続してきましたが、会を創設し、活動を常に前進させてきた原動力はなんと言っても中村先生の先見性、熱い心、仲間を思う優しさ、卓越したリーダーシップに依るところが大きかったと思います。

先生を喪い私たちネパール歯科保健医療協力会のメンバーは、深い悲しみと大きな喪失感、支えを失った心許なさを感じました。新型コロナウイルスの脅威の中ではありましたが、2022年11月27日福岡市中央区のソラリアホテルで、翌年2月26日東京の品川で中村修一先生を偲ぶ会を開催しました。会には150名以上の中村先生の仲間、慕うメンバーが集まり、在りし日の先生を偲びました。中村修一先生との思い出を語り合うことでお互い勇気を交換できた1日でした。偲ぶ会を経て、中村先生のご遺志を繋いでいこうという気持ちも高まり、2023年には秋、冬合わせてミッションをネパールに派遣しています。

中村先生は様々な場面で示唆に富む文章を残しておられます。その中で先生が参加くださった最後のミッションの報告書の中の文章をご紹介します。

ネパールにおけるプロジェクトの変遷を辿ってみると第一期は1989年～1993年の歯科診療発展期でプロジェクトは歯科診療のみを実施しフィールド開発と村人との関係構築を行いました。第二期は1994～2008年のヘルスケア発展期で口腔保健開発とPHCプライマリーヘルスケアを展開しました。プロジェクトの推進過程で大切なplan-do-seeの実行を最初に持ってきてdo-plan-seeと書き直し、とにかく実行して問題が在れば中止する覚悟で展開しました。日本からの隊員も多い時は60名を数え行けどんどんと進めました。そしてその結果を冷静に分析し翌年のミッションに導入しました。また、第二期と同期並行的に、口腔保健専門家プログラム（ヘルプロ）を実行しました（第三期）技術的にはヘルトレが完成し2008年には大規模なワークショップを開きました。テーマは今後の活動をどうするか？ネパール側のCOHW口腔保健専門家委員会が出した結論は、プロジェクトは自分たちが主体的に実行します。しかし完全な自信はないので年に一度は見守ってほしいということでした。第四期は2009年～2018年の「見守り期」で自立の兆しとして本稿に掲載しました

コロナ禍後に活動を再開し、現地のネパールでも偲ぶ会を開催しました。活動の拠点ヘルスプロモーションセンターを今私たちは中村センターと呼び習わしています。今後の活動を見守って下さっていることと思います。  
(寄稿：松岡奈保子さん)



▲ネパールに設置された  
中村先生のメモリアルプレート



多文化共生の  
担い手がつながる  
プラットフォーム福岡

## たぶプラミーティングvol.1開催報告

多文化共生の担い手がつながるプラットフォームづくりミーティング（たぶプラミーティング）の第一回を4月～5月にかけて、福岡市・筑後・筑豊・北九州の4ヶ所にて開催いたしました！

FUNN・ISAPH・JustLinkの三団体が主体となり、福岡県内の在留外国人支援に携わる人たちがつながり合い、お互いの得意分野で助け合うことで、地域の多文化共生が発展できる環境をつくることを目的に始まった『多文化共生の担い手がつながるプラットフォーム福岡（たぶプラ・福岡）』。まずは各地で活動をしている方々と繋がりをつくることを目的として、対面での開催といたしました。ミーティングではお互いが知り合うことを目的とした共有の時間を設け、その後福岡市ではケースワーク、その他の地域ではさらに悩みや課題の共有を行いました。今回の実施により、これまで関わりのなかった方々との繋がりができ、抱えている悩みや課題について知ることができました。皆さま関わり方に差はありますが、普段の活動で様々な悩みを抱えており、つながることの大切さや本音で話すことのできる（愚痴の言える）場の必要性を感じられていました。今回のvol.1で頂いた意見を反映し、7月～8月においてvol.2をまた各地4ヶ所で開催していく予定です。詳細はFUNNHPをご確認下さい！



▲たぶプラミーティングの様子

西南学院大学



## 2024年度NGO合同説明会開催報告

6月5日に福岡市の西南学院大学にてNGO団体の合同説明会を開催しました。当日は西南学院大学ボランティアセンターさまのご協力のもと、当日は50名近くの学生さんにご参加いただきました。

説明会の中では、国際協力についての基礎講座をはじめ当日ご参加いただいたNGO団体の紹介、また各団体ブースに分かれて個別説明を行いました。参加いただいた学生さんたちはボランティアに興味がある方や、スタディツアーで海外に行きたい方などが多くブースでの個別説明では各団体が実施しているプログラムについて熱心に説明を聞いていました。参加した学生さんからは「国際協力を行うための具体的な取り組みを説明していただけたので、国際協力を身近に感じることができた」や「何も想像のつかなかったボランティア活動のイメージをつかめました」といった感想をいただきました。FUNNではこれからも学生さんをはじめ、一般の方々が気軽に国際協力に関われるきっかけづくりを取り組んでまいります。



▲NGO合同説明会の様子



## 2024年度通常総会を令和6年5月19日開催しました

当日は会場（びおとーぷ）とオンラインをつないでハイブリッド形式で開催しました。

総会では、23年度の事業報告や決算報告、24度の事業計画などを審議し、すべての議案が承認されました。また総会終了後は参加者同士の交流会が開かれました。交流会では活発な意見交換や歓談を通して、参加者の皆様同士のつながりが深まったようでした。

今後も皆様のご支援ご協力をいただきながら、九州地域の国際支援活動推進の取り組みを行ってまいります。



▲総会の様子



## NGO相談員活動レポート

海外ボランティア・国際協力に関する相談はコチラから→



### 令和6年度外務省NGO相談員九州ブロック担当を受託しました！

FUNNは外務省よりNGO活動環境整備支援事業の「令和6年度外務省NGO相談員」九州ブロック担当を受託しました。

この制度によりNGOや国際協力に関するお問い合わせやご相談、出張サービスに当団体の職員が無料で対応することが出来ます。九州各県で、NGOや国際協力に関するお問い合わせやご相談はぜひFUNNまでご連絡下さい！

令和6年度も今まで培ってきたノウハウやネットワークを活かして多くの国際協力・国際理解に関するお悩みや勉強会のご要望にお答えしていきます。



## FUNN周辺 “おすすめイベント” 情報

### 【ISAPH】20周年記念イベント

ISAPHの20年を支えた“現地”の底力～ラオス編～

- ◆日時：7/10（水）19:00～20:00
- ◆視聴方法：オンライン(ZOOM)
- ◆参加費：無料

### 2023年度事業報告会

- ◆日時：7/27（土）14:00～16:00(オンライン/15:00)
- ◆参加方法：会場参加/オンライン(ZOOM)
- ◆会場：JICA地球ひろば(市ヶ谷) セミナールーム201AB
- ◆参加費：無料

※どちらもお申し込みはISAPHのホームページから！

### 【JVC九州ネットワーク】

カンボジアスタディツアー

当ツアーはJVC九州ネットワークがプロジェクト支援を行ってきたJVCカンボジアの事業地をめぐるツアーです。訪問の事業地はJVC事業としては完了していますが、その後村の人々が主役となり、どんなふうに展開しているのか、ぜひ村で体験してください！

- ◆日程：9月8日(日)～13日(金)
  - ◆訪問先：カンボジア・シェムリアップ/プノンペン
- ※詳細はFUNNHPに掲載します。ご確認をお願いします！

## たぶプラ・福岡の活動に参加してみませんか？



FUNN・ISAPH・JustLinkの三団体が主体となり、福岡県内の在留外国人支援に携わる人たちがつながり合い、お互いの得意分野で助け合うことで、地域の多文化共生が发展できる環境をつくることを目的に始まった『多文化共生の担い手がつながるプラットフォーム福岡（たぶプラ・福岡）』

たぶプラ・福岡では一緒に活動に取り組んでくれる仲間を募集しています。多文化共生の活動に取り組んでいる方はもちろん、地域の外国人の方との関わりのある方や日本語学校のボランティアさんなども大歓迎です！私達の活動としては、地域で在留外国人の支援に取り組む方々がまずは知り合うための場作り事業を今年度実施しています。ご関心のある方はNGO福岡ネットワークまでお気軽にご連絡下さい！！

NGOの活動を  
を知りたい！

参加するには？  
何が出来る？

# NGO相談 受付中

ご相談おまちしております  
メール・電話にてお問合せください

### FUNN会員募集中！※金額は年会費です。詳細はQRコードページまで！

- ・正会員（団体） ¥10,000
- ・賛助会員（企業） ¥30,000
- ・賛助会員（個人） ¥6,000
- ・通信会員（個人） ¥3,000



寄付の振込先 ※会費振込もこちらの口座まで

#### 【西日本シティ銀行】

加入者名/名義人：NGO福岡ネットワーク  
カナ名：トクヒ エヌジーオーフクオカネットワーク  
支店番号：208（赤坂門支店）  
口座番号：普通 1641291

#### 【郵便振替】

加入者名：NGO福岡ネットワーク  
口座番号：01790-7-89478

※通信欄に「FUNN応援募金」とご記入ください。



### 編集後記

巻頭でも特集しておりますが、今年度からNTDs Youthの会がFUNNのメンバーとなりました。アドボカシーをメインの活動としているのが最近ではめずらしいなど感じ、これから頑張ってもらいたいと思っています。今後の活動もHPやメルマガ、SNS等で発信していきますので、ぜひご注目下さい！（編集：多原）

### FUNN正会員団体リスト

- \* (特活) ISAPH
- \* アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- \* (特活) アジア女性センター
- \* (一社) NTDs Youthの会
- \* (特活) 九州海外協力協会
- \* 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- \* 佐賀NGOネットワーク
- \* JVC九州ネットワーク
- \* (特活) じゃっど
- \* 認定NPO法人地球市民の会
- \* チベットを知る会
- \* NPO法人トゥマンハティふくおか
- \* 認定NPO法人難民を助ける会
- \* ネパール歯科保健医療協会(ADCN)
- \* (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- \* PP21ふくおか自由学校
- \* 福岡YMCA
- \* フレンズ国際ワークキャンプ九州
- \* (一社) ミドリゼーションプロジェクト
- \* (一社)モザンビークのいのちをつなぐ会

【編集・発行】

**FUNN** 特定非営利活動法人  
NGO福岡ネットワーク

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1

小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内

FUNN公式ホームページ  
最新情報はコチラから



\* 受付時間：火～土 13:00～18:00

\* 日・月・祝・・・休み



092-405-9870



funn@ngofukuoka.net



https://ngofukuoka.net/